

## 国語科 1年生

### 1. 年間スケジュール及び授業内容

- 1) 各学期において、〈話す・聞く・読む・書く〉活動をバランスよく配置する。
- 2) 読み物教材においては、説明的文章・文学的文章をバランスよく配置する。
- 3) 帯学習として漢字小テスト、読書の時間を設ける。
- 4) 単元をまたいで、学習を振り返るレポート課題を設ける。

### モデル

1学期	2学期	3学期
主な読み物 「ふしぎ」 「桜蝶」 「自分の脳を知っていますか」 「竹取物語」 ことば 「言葉の単位」	主な読み物 「ベンチ」 「全ては編集されている」 「森には魔法つかいがいる」 「オツベルと象」 ことば 「文の成分」 「単語のいろいろ」①	主な読み物 「言葉がつなぐ世界遺産」 「少年の日の思い出」  ことば 「単語のいろいろ」②
漢字の小テスト・読書の時間		

### 2. 授業の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 3. 評価方法や評価材料

以下に関して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で評価する。

- 1) 各学期テスト、漢字小テスト など
- 2) 授業の成果物（発表、執筆 など）
- 3) 学習振り返りレポート
- 4) 学習記録（漢字テストの整理、読書の記録）

### 4. 授業の方法や形式

一斉授業形式をもとに、グループワークを織り交ぜつつ授業を展開する。またときに、ICTを用いて、オンラインでの課題や反転学習の機会を設ける。

## 国語科 2年生

### 1. 年間スケジュール及び授業内容

- 1) 各学期において、〈話す・聞く・読む・書く〉活動をバランスよく配置する。
- 2) 読み物教材においては、説明的文章・文学的文章をバランスよく配置する。
- 3) 帯学習として漢字小テスト、読書の時間を設ける。

### モデル

1学期	2学期	3学期
主な読み物 「虹の足」 「タオル」 「日本の花火の楽しみ・水の山富士山」 映像作品の表現を考える 文法 「活用のない自立語」	主な読み物 「夏の葬列」 「紙の建築」 「ガイアの知性」 「敦盛の最後一平家物語」 「二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉」 文法 「活用のある自立語」 「類義語・対義語」	主な読み物 「学ぶ力」 「走れメロス」  文法 「付属語のいろいろ」
漢 字 の 小 テ ス ト ・ 読 書 の 時 間		

### 2. 授業の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 3. 評価方法や評価材料

以下に関して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で評価する。

- 1) 各学期テスト、漢字小テスト など
- 2) 授業の成果物（発表、執筆 など）
- 3) 単元まとめレポート
- 4) 学習記録・分析シート（漢字テストの整理、読書の記録）

### 4. 授業の方法や形式

一斉授業形式をもとに、グループワークを織り交ぜつつ実施。またときに、ICTを用いて、オンラインでの課題や反転学習の機会を設ける。

## 国語科 3年生

### 1. 年間スケジュール及び授業内容

- 1) 各学期において、〈話す・聞く・読む・書く〉活動をバランスよく配置する。
- 2) 読み物教材においては、説明的文章・文学的文章をバランスよく配置する。
- 3) 帯学習として漢字小テスト、読書の時間を設ける。
- 4) 各種コンクールや外部テストを活用する。
- 5) 単元をまたいで、学習を振り返るレポート課題を設ける。

### モデル

1 学期	2 学期	3 学期
主な読み物 「春に」 「立ってくる春」 「なぜ物語が必要なのか」 「私」 ことば 「呉音・漢音・唐音」 「助詞のはたらき」	主な読み物 「薔薇のボタン」 「メディアリテラシーはなぜ必要か？」 「新聞が伝える情報」 「AI は哲学できるか」 「旅への思い—芭蕉と奥の細道」 ことば 「和語・漢語・外来語」 「助動詞のはたらき」①	主な読み物 「故郷」 「風景と心情—漢詩を味わう」 「俳句の味わい」「最後の一句」 ことば 「慣用句」「四字熟語」 「助動詞のはたらき」②
漢 字 の 小 テ ス ト ・ 読 書 の 時 間		

### 2. 授業の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 3. 評価方法や評価材料

以下に関して、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で評価する。

- 1) 各学期テスト、漢字小テスト など
- 2) 授業の成果物（発表、執筆 など）
- 3) 学習振り返りレポート
- 4) 学習記録（漢字テストの整理、読書の記録）

### 4. 授業の方法や形式

一斉授業形式をもとに、グループワークを織り交ぜつつ実施。またときに、ICT を用いて、オンラインでの課題や反転学習の機会を設ける。